

3-11 Hoshigadai, Tajimi City, Gifu Pref., 507-0811 JAPAN  
 TEL. +81-572-22-5381 / FAX. +81-572-25-1163  
 URL: <http://www.ceram.rd.pref.gifu.lg.jp>  
 Mail: [info@ceram.rd.pref.gifu.jp](mailto:info@ceram.rd.pref.gifu.jp)

Gifu Prefectural Ceramics Research Institute

岐阜県セラミックス研究所

since 1911

TM

## ■ 「平成24年度岐阜県中小企業技術者研修」を開催します

環境問題が大きな課題である近年、環境を活かす経営は、他者との差別化や取引先からの環境課題に対処でき、自らの市場創出も実現します。

そこで、中小企業の技術者を対象に、他社の先進的な環境保全活動事例を学ぶとともに、環境にやさしい取り組みや知識を吸収し、事業所における環境に関する課題解決を学ぶ研修を企画いたしました。

この機会にぜひご参加頂きますよう、ご案内申し上げます。

- 研修日時： 平成25年2月14日(木)・2月21日(木)・2月28日(木)・3月7日(木)  
各回とも 14:00~16:00
- 研修場所： 岐阜県セラミックス研究所 多治見市星ヶ台3-11
- 受講対象： 県内中小企業者又はその従業員
- 定員： 10名程度
  
- 研修内容： 2/14(木) 「エフピコ方式のリサイクル トレーtoトレー&ボトルtoトレー」  
講師：株式会社エフピコ 環境対策室 井上達弘氏  
2/21(木) 「環境ビジネスの潮流 ～エコ商品で社会貢献～」  
講師：フルハシ環境総合研究所 所長 浅井豊司氏  
2/28(木) 「持続可能な社会を目指して…未来の子供たちに美しい自然を残したい」  
講師：ユニー株式会社 環境社会貢献部 百瀬則子氏  
3/7(木) 「産業廃棄物の排出事業者責任について」  
講師：岐阜県環境生活部廃棄物対策課 主任 見吉賢志氏  
※なお、出席率が研修総時間数の75%以上の方には修了証書を交付します。
  
- 受講費用： 1名につき 4,000円程度  
※受講者数により変動しますのでご了承ください。  
研修経費の2分の1を県が負担し、残り2分の1を受講者人数で割った金額が受講料となります。  
受講料の納入は、受講決定後に送付する納入通知書により、2月7日(木)までをお願いします。  
なお、受講決定後のキャンセルは承りかねますので、日程等十分に確認のうえ、お申込み頂きますようお願いいたします。
  
- 申込方法： 当所HP掲載の申込書にご記入の上、1月18日(金)までにFAXまたは郵送にてお申し込み下さい。  
定員に達しご参加いただけない場合は連絡いたします。
  
- 申込先： 岐阜県セラミックス研究所  
〒507-0811 岐阜県多治見市星ヶ台3-11  
電話：(0572)22-5381 FAX：(0572)25-1163 (研修担当：岩田芳幸)

## ■ 「技術講習会」を開催しました

岐阜県陶磁器デザイン協議会主催で当所共催の技術講習会「スケッチから始める染付」を4月13日(金)から6月8日(金)までの8日間と10月5日(金)から11月30日(金)までの8日間、当所で開催しました。



同研修会は、産地メーカー等の技術力向上を図ることを目的として企画しました。岐陶工連組合員事業所のデザイナーなど前期16名、後期15名の方が参加しました。瀬戸染付研究所の大谷昌弘氏を講師に招いて、染付の説明、スケッチの仕方、筆の使い方などを学びました。

今回は模様展開の基礎である植物スケッチに焦点を当てた研修を行いました。前期では、実際の植物を丹念にスケッチし、構図を考え、平皿に鉄線、蓋付夫婦湯呑には紫陽花を、面相筆とダミ筆を使い絵付を行いました。後期では、季節(花)を変え「鉢」、「珈琲カップ」、「夫婦茶碗」、「花器」などへの染付を行いました。



岐阜県陶磁器デザイン協議会とは…

岐阜県陶磁器デザイン協議会は昭和34年に発足。美濃地域の陶磁器デザイン向上を目的として、陶磁器関連組織・企業を中心に構成されています。デザイン関連の技術研修や見学会、講演会の開催などを中心に活動しています。

事務局

岐阜県陶磁器工業協同組合連合会

## ■ 「熱機械分析装置(熱膨張測定装置)」を整備しました

2012年度に、熱機械分析装置を整備しましたのでご紹介します。



- メーカー名 : ネット・ジャパン株式会社
- 型番 : TD5200SA/CR24
- 天秤方式 : 水平型差動方式
- 変位検出方式 : 差動トランス
- 測定雰囲気 : Air, N<sub>2</sub>, O<sub>2</sub>, 不活性ガス
- 変位検出範囲 : ±0.5 μm ~ ±2500 μm
- 荷重範囲 : 1g ~ 100g (電磁荷重方式)
- 昇温速度 : 1°C/Hr ~ 20°C/min
- 測定試料サイズ : □5mm × 10 ~ 20mmL (10・20mm用支持管・検出棒使用時)  
φ5mm × 10 ~ 20mmL (10・20mm用支持管・検出棒使用時)  
□5mm × 45 ~ 55mmL (45・55mm用支持管・検出棒使用時)  
φ5mm × 45 ~ 55mmL (45・55mm用支持管・検出棒使用時)
- 電気炉移動機構 : 測定終了後、試料温度が300°C以下になると、自動的に電気炉強制冷却ファンが回り、電気炉が自動的に右方へ移動し、電気炉の断熱カバーが開いて、炉体の冷却を行います。
- 測定温度範囲 : RT ~ 1700°C (常用温度RT ~ 1600°C) 但し、300°C以下は測定不能
- 測温熱電対 : JIS B型
- 電気炉 : 炉名称: 超高温炉 (17H炉)  
ヒーター: Mo  
炉熱電対: WRe5-26